

報道資料

2017年9月6日

株式会社インターブランドジャパン

インターブランドジャパン、龍谷大学及び羽田空港国際線旅客ターミナルのプロジェクトでレッド・ドット・アワードを受賞

日本最大のブランディング会社であるインターブランドジャパン（東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：並木将仁）は、龍谷大学のトランスジェンダー啓発キャンペーン、及び、羽田空港国際線旅客ターミナル（TIAT）のブランディングプロジェクト「WE ARE TOKYO」において、ドイツの国際デザイン賞「レッド・ドット・アワード 2017」を受賞しました。

龍谷大学の「Everyone's Equal」啓発キャンペーンは、仏教をルーツに378年の歴史を持つ同大学において、建学の精神の一つであり仏教の教えに通じる「すべてのいのちを大切にする『平等』の心」を、現代の社会的イシューであるトランスジェンダーの平等性に反映させた取り組みです。大学構内で男女が最も明確に区別されるトイレという場所で、トランスジェンダーへの価値観を問いかけるステッカーを掲示。もしも自由な世界なら、「あなたにとって、まだこの場所は心地良い？」「あなたは、まだ女子でいたい？」など、楽しくも刺激的なメッセージを投げかけることで、トランスジェンダーの平等性における問題に対する興味、関心、気づきを学生に提供しました。

TIATのブランディングプロジェクト「WE ARE TOKYO」は、羽田空港の6,500人の従業員に向けたエンゲージメント活動です。世界トップクラスの空港のおもてなしを実現するため、従業員一人ひとりをヒーローとして称賛することで、従業員の誇りと団結をもたらすというアイデアで「Airport Heroes」を実施。空港の様々な業種のユニフォームを撮影し、トレーディングカードの交換や、等身大ミラーパネルでの擬似体験などを通して、他の従業員の役割の理解促進や、自らの役割への誇りを醸成しました。この一体感と明確な目的意識により、SKYTRAXの世界の空港ランキング「WORLD AIRPORT AWARD」で、羽田空港は2017年に第2位に上昇。同プロジェクトでは、従業員通路を活用した空間コミュニケーションで、2016年にもレッド・ドット・アワードを受賞しており、2年連続での受賞となりました。



reddot award 2017
winner

龍谷大学：Everyone's Equal



コミュニケーションデザイン部門
アドバタイジング

TIAT：Airport Heroes



コミュニケーションデザイン部門
ブランドデザイン&アイデンティティ

インターブランドでは、東京の他にミラノ、ケルン、マドリッドの各オフィスも同アワードを受賞し、グローバルで計6つの受賞を果たしました。

ミラノオフィスでは、ユベントス・フットボール・クラブのプロジェクトにおいて、ブランディング及びエクスペリエンス戦略として開発したビジュアル・アイデンティティとタイポグラフィで、コミュニケーションデザイン部門のブランドデザイン&アイデンティティ、及び、タイポグラフィの2カテゴリーで受賞を果たしました。同プロジェクトは、新しい市場とオーディエンスに向けたユベントスの成長計画の支援を行ったもので、同クラブのエッセンスを抽出し、不屈、野望、プレミアム・イタリアンスタイルといった普遍的な価値を創出した包括的なプログラムが評価されました。

ケルンオフィスでは、ミュンヘン空港の25周年にあたり、「25 Years: Munich Airport」と題した周年誌を開発し、コミュニケーションデザイン部門で受賞しました。また、マドリッドオフィスでは、法律事務所Gómez-Acebo & Pomboのプロジェクトにおいて、「Fill in the gap」という同ブランドのプロミスを頭文字を使って表現したビジュアル・アイデンティティ「GA_P」で、コミュニケーションデザイン部門で受賞を果たしました。

インターブランドのエグゼクティブ・クリエイティブディレクター、アンディ・ペインは、次のようにコメントしています。「ビジネス・ツールとしてのデザインは見過ごされがちです。レッド・ドット・アワードは、複雑な課題を解決し、事業戦略を明確にし、顧客・従業員のエクスペリエンスを向上させ、ブランドと事業をより強固に成長させるという点で、デザインを中心に据えています。単年で6つのレッド・ドット・アワードを受賞するという事は、私たちの世界中のクライアントとデザインチームがクリエイティビティに投資していることを証明しています。」

<レッド・ドット・アワードについて>

レッド・ドット・アワードの起源は1955年にさかのぼり、1990年代にピーター・ゼック氏により世界的な賞に発展しました。プロダクトデザイン、コミュニケーションデザイン、コンセプトデザインの3つのコンペティションに分けられ、毎年表彰が行われます。プロダクトからコミュニケーションプロジェクト、パッケージ、デザインコンセプトまで、世界中の優れたデザイン・トレンドを網羅しており、受賞したデザインはレッド・ドット・デザインミュージアムで展示が行われます。詳しくは、<http://en.red-dot.org/> をご覧ください。

インターブランドについて

インターブランドは、1974年にロンドンで設立された、世界最大のブランディング専門会社です。インターブランドは、ブランドをLiving business asset（常に変化する事業資産）と定義し、組織が明確な戦略を持ち、優れた顧客体験を提供する時、成長がもたらされると考えています。世界17カ国、24のオフィスを拠点に、戦略、クリエイティブ、テクノロジーの組み合わせにより、クライアントのブランドとビジネス双方の成長を促進する支援を行っています。

インターブランドの「Brand Valuation™（ブランド価値評価）」は、ISOにより世界で最初にブランドの金銭的価値測定における世界標準として認められました。インターブランドは、グローバルブランドの価値を評価したブランドランキングである Best Global Brandsをはじめとする各種ブランド価値・ブランド強度分析レポートを公表しています。インターブランドでは、先端的な手法を用いる戦略分析チームと高い芸術性を持つクリエイティブチームが一つのチームとなり、プロジェクトを推進します。ブランド価値評価・ブランド戦略構築をリードする戦略コンサルタント、ブランドロゴ・パッケージ・空間・デジタルデザインを開発するデザイナー、ネーミング・スローガン・メッセージを開発するコピーライターなどが在籍し、分析から実行、全ての流れを自社のリソースで完結します。

インターブランドジャパンは、ロンドン、ニューヨークに次ぐ、インターブランド第3の拠点として、1983年に東京で設立されました。日系企業、外資系企業、政府・官公庁など様々な組織・団体に対し、トータルなブランディングサービスを提供しています。インターブランドについての詳しい情報は<http://www.interbrandjapan.com> をご覧ください。

以上

お問い合わせ

株式会社インターブランドジャパン 担当：中村正道，山中雄介
Tel: 03-5448-1200 Fax: 03-5448-1052 e-mail: pr@interbrandjapan.com

Interbrand Japan, Inc.
9F Hiroo Plaza
5-6-6 Hiroo, Shibuya-ku
Tokyo 150-0012 Japan

T + 81 (3) 5448 1200
F + 81 (3) 5448 1052
www.interbrandjapan.com